

第5次レッドデータブック：
絶滅のおそれのある日本の野生生物
The 5th Red Databook, Threatened wildlife of Japan

サンカノゴイ

Botaurus stellaris stellaris (Linnaeus, 1758)

浦達也（公益財団法人日本野鳥の会）

絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 鳥類分科会



令和8（2026）年3月



特に文献内で別途指定がない限り、この文献はクリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンスの下に提供されています。

<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

種毎の解説を引用する場合には以下のように記述してください。

引用表示：浦達也，2026．サンカノゴイ．環境省（編）第5次レッドデータブック：絶滅のおそれのある日本の野生生物，pp. 133-137．

Citation: Ura, T., 2026. *Botaurus stellaris stellaris* (Linnaeus, 1758). In: Ministry of the Environment, Japan (ed.), *The 5th Red Databook, Threatened wildlife of Japan*, pp. 133-137.

サンカノゴイ

Botaurus stellaris stellaris (Linnaeus, 1758)

カテゴリー判定結果 絶滅危惧 I A 類 (CR) D

基準 A: —	基準 B: —	基準 C: —	基準 D: CR	基準 E: —
---------	---------	---------	----------	---------

D. 成熟個体数が 50 未満であると推定される個体群である。

【推定根拠】

(公財) 日本野鳥の会が 2020～2022 年に行った全国繁殖数調査の結果に基づく。北海道では現地調査を行い、その他の地域はアンケートにより繁殖数（鳴いているオスの数）を算出した。性比を 1:1 とし、調査で確認されたオスの数である 17 を 2 倍した羽数を成熟個体の推定値とした。

評価分科会： 鳥類分科会

概要

サンカノゴイは、中型のサギで広いヨシ原、湖沼、河川などの湿地に分布する。国内の繁殖地は北海道、茨城県、千葉県などで局所的である。非繁殖期、国内各地から記録があるが、稀で、個体数は多くない。各地で本種の生息地である広大なヨシ原や湿地は消失している。(公財) 日本野鳥の会が 2020～2022 年に行った全国繁殖数調査の結果、成熟個体数は 34 羽程度と推定された。

基礎情報

【形態】

全長約 70～80 cm で中型のサギの仲間である。羽色は雌雄で似ているが、通常オスよりメスはやや小さい。上面は黄褐色で濃い褐色の斑があり、下面は淡く大きな褐色の縦斑がある。頭頂は黒色で、メス・幼羽では淡い。生息域の水辺のヨシ原などの景観に類似した色彩であり、本種を生息域で確認することは簡単ではない。嘴と脚は、黄色味のある緑色で、目先の色は季節により変化する。ヨシゴイ (*Ixobrychus sinensis*) やゴイサギ (*Nycticorax nycticorax*) の幼鳥の色彩は似ているが、本種より小さい。

【生活史】

水辺では多様な魚類を主に捕食する。両生類や昆虫類、甲殻、クモ類、爬虫類、小型の哺乳類等の小動物を捕らえる。ウシガエル (*Rana catesbeiana*) の幼生なども捕食する。繁殖期、「ボン・ボン」「ボーツ・ボーツ」と大きな声でオスはよく鳴く。鳴き声は、3～5 km まで届くことがある。ウシガエルの声に似ているが、声の質と大きさが全く異なる。局地的に繁殖している利根川水系の湿地では、冬期にも鳴くことがある。繁殖期は、3～5 月で、一夫多妻であることがある。開放水面から遠くない水深 30 cm 程度の密生したヨシ原に営巣する。枯れたヨシの枝、葉などを集めただけの簡単な巣に、通常 4～5 卵を産む。メスのみが巣を造り、抱卵し、育雛する。抱卵日数は約 25～26 日で孵化後 50～55 日で巣立つとされる。ただし、国内での生活史については不明である。

【生息環境】

湖、池沼、ため池などの水帯・止水、沼沢、砂礫質の河川敷、その他の湿原などの湿地に生息する。塩沼地、泥質干潟の後背地や都市公園の造成された池などでも記録される。繁殖期は特徴ある鳴き声で生息を確認することができるが、非繁殖期は確認が極めて困難であるため、生息を確認することが難しい。

生息環境区分：	【陸域_平地部】湿地・湿原，河川中流域，河川下流域，ため池・池沼， 潟・湖・ダム湖 【海域（沿岸）_潮間帯】干潟
国土地域区分：	(2) 里地里山・田園地域，(4) 河川・湿地地域，(5) 沿岸域

【分布域】

2 亜種が知られ、そのうち 1 亜種 (*Botaurus stellaris capensis*) はアフリカで繁殖する。日本に分布する亜種 (*Botaurus stellaris stellaris*) はイギリス、スカンジナビアからシベリア、サハリン、日本など旧北区の広範囲にわたる地域で繁殖する。ユーラシア大陸北部で繁殖する個体は、アフリカ、南アジア、東南アジアに渡り越冬する。国内、各地から記録があるが、繁殖地は北海道、茨城県、千葉県、滋賀県など局所的である。利根川水系の生息地では、例年、数つがいが繁殖する。北海道では夏鳥とされ、本州以南では冬期にも生息する。

現在の生息状況

【分布域の現況】

国内の繁殖地は局所的で限定されているが、周年を通じ各地で記録される。繁殖地は狭い範囲に限定されているが、安定した繁殖地では数つがい営巣する。繁殖期以外は単独で確認されることが多く、稀である。穏やかで静かな広大なヨシ原や河川、水田、湖沼など、人間活動の影響が少ない湿地は、各地で減少している。

【生息地の現況】

ヨシ原、湖沼、河川の開発により生息地が減少している。鉄道が開通し湖沼が分断された後、繁殖期に確認されなくなった地域がある。各地で広大なヨシ原や湿地は消失しているが、具体的な現況は不明である。

【個体数の現況】

個体数は少ない。湿地の消失や減少のため、生息が確認されなくなった地域がある。（公財）日本野鳥の会が2020～2022年に行った全国繁殖数調査の結果、成熟個体数は34羽程度と推定された。

存続を脅かす要因

湿地湖沼・河川・草地の開発、道路工事により生息地が破壊、消失、減少している。農薬汚染も懸念される。繁殖地、およびその周辺の路上では、交通事故による轢死例もある。鉄道の開通後、繁殖期に記録されなくなった事例がある。

要因の区分：	（過去）	湖沼開発，河川開発，湿地開発，草地開発，交通インフラ建設，交通事故，農薬汚染/化学物質汚染，不明
	（現在）	湖沼開発，河川開発，湿地開発，草地開発，交通インフラ建設，交通事故，農薬汚染/化学物質汚染，不明

特記事項

利根川水系では、道路や鉄道の開通後、繁殖期に記録されなくなった事例がある。本種が生息するためには、広大なヨシ原を中心とした湿地が重要である。穏やかで静かな環境が必要であり、広大なヨシ原を残すことが望ましい。なお、本亜種の分類は、日本鳥類目録改訂第7版（日本鳥学会 2012）においてペリカン目に変更されている。

旧レッドリストカテゴリーと掲載名

第4次 2020:	サンカノゴイ	<i>Botaurus stellaris stellaris</i>	EN
第4次 2019:	サンカノゴイ	<i>Botaurus stellaris stellaris</i>	EN
第4次 2018:	サンカノゴイ	<i>Botaurus stellaris stellaris</i>	EN
第4次 2017:	サンカノゴイ	<i>Botaurus stellaris stellaris</i>	EN
第4次 2015:	サンカノゴイ	<i>Botaurus stellaris stellaris</i>	EN

第4次:	サンカノゴイ	<i>Botaurus stellaris stellaris</i>	EN
第3次:	サンカノゴイ	<i>Botaurus stellaris stellaris</i>	EN
第2次:	サンカノゴイ	<i>Botaurus stellaris stellaris</i>	EN
第1次:	サンカノゴイ	<i>Botaurus stellaris stellaris</i>	R

都道府県レッドリスト・レッドデータブック掲載状況（令和6年度末時点）

【北海道】絶滅危惧ⅠB類(En), 【青森県】最重要希少野生生物(Aランク), 【岩手県】絶滅危惧Ⅰ類, 【宮城県】準絶滅危惧(NT), 【秋田県】情報不足(DD), 【山形県】評価対象外, 【福島県】情報不足(DD), 【茨城県】絶滅危惧ⅠB類, 【栃木県】絶滅危惧Ⅰ類(Aランク), 【千葉県】最重要保護生物(A), 【東京都(本土部)】絶滅危惧ⅠA類(CR), 【東京都(区部)】絶滅危惧ⅠA類(CR), 【神奈川県】情報不足(非繁殖期), 【新潟県】準絶滅危惧(NT), 【富山県】絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN), 【石川県】絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN), 【福井県】県域絶滅危惧Ⅰ類, 【静岡県】絶滅危惧ⅠB類(EN), 【愛知県】絶滅危惧ⅠB類(EN)(通過), 【滋賀県】絶滅危惧種, 【兵庫県】Aランク, 【鳥取県】絶滅危惧Ⅱ類(VU), 【島根県】準絶滅危惧(NT), 【岡山県】絶滅危惧Ⅰ類, 【山口県】絶滅危惧ⅠA類(CR), 【徳島県】絶滅危惧ⅠA類(CR), 【高知県】絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN), 【福岡県】絶滅危惧Ⅱ類(VU), 【佐賀県】絶滅危惧Ⅱ類種, 【長崎県】絶滅危惧ⅠB類(EN), 【熊本県】情報不足(DD), 【大分県】絶滅危惧ⅠB類(EN), 【鹿児島県】絶滅危惧Ⅰ類, 【沖縄県】絶滅危惧ⅠB類(EN)

保護に係る法令指定状況（令和7年度末時点）

鳥獣保護管理法, 都道府県条例指定種【滋賀県】

参考文献

- 千葉県レッドデータブック改訂委員会（編），2011．千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドデータブック 動物編 2011年改訂版．千葉県環境生活部自然保護課，千葉市．538pp.
- Cramp, S. and K. E. L. Simmons (eds.), 1983. The birds of the Western Palearctic. vol I, Oxford. 714pp.
- del Hoyo, J., A. Elliott and J. Sargatal (eds.), 1992. Handbook of the Birds of the World. Vol. 1. Ostrich to Ducks Lynx Edicions, Barcelona. 696pp.
- Delany, S. and D. Scott, 2006. Waterbird population estimates - fourth edition. Wetland International, Wageningen. 239pp.
- 橋本洋一・桑原和之，1992．印旛沼におけるサギ科 Ardeidae 8 種の生息場所．我孫子市鳥の博物館研究報告書，1: 9-22.
- 箕輪義隆・桑原和之・三沢博志・鈴木明・奴賀俊光・米持千里・小林大光・田中忠義，2005．印旛沼鳥類目録．我孫子市鳥の博物館研究報告書，13: 1-48.

- (公財)日本野鳥の会, 2024. プレスリリース: 絶滅危惧ⅠB類(鳥類)「サンカノゴイ」の全国のおスの繁殖個体数が明らかに 国内で確認できたのは17羽のみ!
(<https://www.wbsj.org/activity/press-releases/press-2024-01-15/>)
- 岡田登美男・池地秀満・植田潤・大野達男・森田尚・堀尾正三郎・堀尾岳行, 1986. 滋賀県下物におけるサンカノゴイ *Botaurus stellaris* の繁殖記録. Strix, 5: 53-59.
- 滋賀県琵琶湖環境部自然保護課, 2000. 滋賀県で大切にすべき野生生物 (2000年版). 大津. 176pp.
- Voisin, C., 1991. The herons of Europe. T&AD Poyser, London. 364pp.

アセスメントサマリー (Assessment summary)

Botaurus stellaris stellaris has been assessed for threatened wildlife of Japan Red List 5th edition. *Botaurus stellaris stellaris* is listed as CR under criteria D.

D. Population size estimated to number fewer than 50 mature individuals.

Habitat types:	【Terrestrial/Freshwater area_Plain】 Wetland, Middle river basin, Lower river basin, Reservoir/Pond, Lagoon/Lake/Dam 【Marine area (Coastal area)_Intertidal zone】 Intertidal mudflat
Threat types:	Lake development, River development, Wetland development, Grassland development, Transportation infrastructure construction, Vehicle collision, Pesticide/Toxic chemical pollution, Unknown
Law designation status for conservation	Wildlife Protection, Control, and Hunting Management Act. Prefectural Ordinance-Designated Species 【Shiga】 .



©橋崎陸 ((公財)日本野鳥の会)



©雄賀多希英 ((公財)日本野鳥の会)

執筆者: 浦達也 (公益財団法人日本野鳥の会)
Author: Tatsuya Ura

公表年月: 2026年3月